

2015年

9

月号

組合会報

〈発行所〉

埼玉県鍍金工業組合

〒331-0811

さいたま市北区吉野町 2-222-7

TEL 048 (666) 2184

FAX 048 (652) 7631

〈発行人・理事長〉

黒澤 久

〈編集人・総務委員長〉

島田 幸昌

—今月号の主な内容—

新三役挨拶	2	全鍍連 平成27年度通常総会開催	7
新理事長就任挨拶 黒澤久	2	鍍金会 定期総会開催	8
第50回通常総会開催	4	組合保険業務取り扱い	9
「降板」直前理事長 小林 満	8		



153号



新三役挨拶

新理事長就任挨拶

理事長 黒澤 久



本年5月の通常総会におきまして理事長の大役を仰せつかりました、スリーケ株式会社の黒澤でございます。

この埼玉県鍍金工業組合は今年で50周年を迎えました、歴史と伝統のある組合であり大変に緊張している所です。

事業組合法は昭和24年に施行されました、戦後の中小企業を育成する為、融資の協同保証という護

送船団方式の金融施策としてスタートしています。

そしてそれは、その後の日本の経済高度成長に大きく寄与したことは間違いありません。しかし、これからは右肩上がりの経済成長はありません、むしろ国内の製造業の生産量は減少傾向になるのではないかと思われ、今まで以上に経済環境は厳しくなる事が懸念されます。今までの経営手法では駄目でお手本の無い時代に入ってきていると思います。

さらに、我々鍍金業界は今年6月に施行された改正水質汚濁防止法など環境規制は更に厳しさが増していき、対策に苦慮しているのが実情です。これらの課題は個々の事業所では対処できないので、今まで以上に会員一同当組合に結集し全国鍍金工業組合連合会と連携し対応して行かなければならな

いと思っています。

さて、現在の当組合会員数は80事業所を割り込んで来ています、20年程前は160事業所近くありましたので約半数ほどになってしまいました。組合としても指をくわえて困っていても何も生まれません。その為6月の理事会で会員開発特別委員会を立ち上げさせて頂きました、退会事業所の退会理由を調査し、廃業なのか？その他の理由なのか？確認し、会員減少にブレーキをかけられればいいと思うと共に、新規会員の開拓に繋がっていきたくと考えています。

会員の皆様、そして賛助会員の皆様には埼玉県内で鍍金関連事業をされていて、当組合に入っていない事業所の情報提供を是非数多くいただきたくお願い申し上げます。

の主管で群馬鍍金工業組合との共

催で11月4日(水)大宮西口ソニックス内の大宮パレスホテルで開催します。ついては7月の理事会で実行委員会を設置し取り組んできております。埼玉県が恥ずかしくない会議運営が出来るよう行動して来いています、この件に付きましても会員の皆様には多くの会議参加など御協力をお願い致します。

最後に、自分は浅学菲才であり理性より感性優先で生きて来ましてので、会員の皆様に多々ご迷惑を掛けると思いますが微力ながら与えられた役割を精一杯努めさせて頂きます。会員の皆様には熱きお叱りと温かいご協力をお願いし、関係各位皆様のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

そして今年、関東甲信越静ブロック会議が埼玉県鍍金工業組合

副理事長挨拶

副理事長 吉田 幸司



5月の総会にて、昨年度に引き続き副理事長を拝命致しました吉田です。

今年度は当組合の創立50周年を迎える節目の年でございます。この大事な年に副理事長という大役を仰せつかるということは大変光栄なことなのかもしれませんが、正直申し上げてこのような重責をうけてしまい戸惑いを隠せないところです。

しかし、バトンを引き継いだ以上、諸先輩方の築き上げた実績を大事にしながらいよいよ黒澤新理事長の

下、組合運営を盛り上げていく為に精一杯努力する所存です。

さて、上述の通り当組合も50年経つわけでありますが、今期はブルック会議の幹事県の役割がまわってきたり、水濁法をはじめ様々な法規制が変わってきたりと忙しい年になりそうです。

また、我々を取り巻く経済環境も中国の失速を受け、世界的に厳しい話が出てきている様です。

もちろん各企業の維持発展が最重要課題ではありますが、組合として皆さんに有益な情報の伝達、各規制等の早期情報周知と取り組みにも務めていく所存です。

なにかと皆様にご協力いただく事の多々ある年になるかと思いますが、全員で助け合い、より良い組合に、そして皆さんが参加して良かったと思える魅力ある組合にできる様、微力ながら頑張りたいと思いますので、宜しくお願い致します。

新副理事長挨拶

副理事長 伊藤 麻美



「鍍金」、これはなんて読むのですか？と聞かれることがあります。

私もお恥ずかしながら稼業の字が読めませんでした。

鍍金がこれほど重要な加工技術だという事を知らなかったのです。

宇宙関連、飛行機、車、パソコン、携帯電話、医療、楽器、宝飾品、あらゆる分野の基盤技術を担っているのが鍍金です。

鍍金無しで私達の生活は成り立ちません。

しかし鍍金はいつでも黒子でその存在すら知らない人もいます。

それでも鍍金は進化し続けます。日本のものづくりの発展には欠かせない鍍金を多くの方々に関心を持って頂く事が私達のミッションだと思っています。

埼玉県鍍金工業組合の副理事長としては力不足な点は多々あるかと思いますが鍍金の魅力については十分理解しています。

理事長はじめ組合の皆様と一緒に埼玉県鍍金工業組合に貢献できる様に頑張りたいと思います。

私が今日まで生きてこられたのも鍍金のおかげです。

これからも鍍金の素晴らしさ、カッコよさを一人でも多くの方々に発信していきたいと思っております。

今後ともご指導の程よろしくお願い致します。

新専務理事挨拶

専務理事 出野哲也



本年度、総会にて専務理事を仰せつかりました(株)大宮鍍金工業の出野哲也です。今年度黒澤理事長のもとで活動させていただくことになりましたが、黒澤理事長は多くの団体でリーダーシップを発揮されておられた経歴もあり、一緒に活動できることは非常にありがたいことでもあります。大変学ぶ機会も多くなるかと思いますが、私も組合活動を通じて成長していきたいと思っております。

組合活動については、この経済状況の中、各組合員自体も時

間に余裕がなく、組合活動に時間をさけられなくなってきたのが現実だと思います。組合自体も予算が限られており、そのような中では、より効率的な組合運営が求められてくるのではないのでしょうか。例えば細かい話になりますが、連絡手段、情報の発信手段など、組合事務員及び運営側の負担が軽減する改善が多々あるように感じます。自分の立場で、小さなことから取り組んでいきたいと思っております。

まだまだ若輩者ですが、組合発展のために精一杯努力する所存でございます。皆様のご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

第50回通常総会開催される



して小林満理事長より挨拶を頂いた。

「本年度は財政的にプラスに転じることができたが、組合員の減少等課題は多い、総会は人事の改選期なので色々な面でご協力願います。」と述べた。

続いて、議案審議に入り議長に柿沼義男氏・書記に渡邊順一氏が選任され議事に入った。はじめに、書記の渡邊順一氏より出席状況について本総会が成立条件を満たしているとの報告があった。

第1号議案、平成26年度事業経過報告・財産目録・貸借対照表・損益計算及び剰余金処分(案)を島田幸昌専務理事並びに各委員長が報告。

埼玉県鍍金工業組合(小林満理事長)は平成27年5月20日午後4時00分よりパレスホテル大宮にて平成27年度第50回通常総会を開催した。

来賓をはじめ組合員・賛助会員多数出席のなか、井上宣雄総務委員長が司会を務めた。

初めに、黒澤久副理事長より開会の辞を頂き、次に主催者を代表

第2号議案、監査報告について高岡彰次監事より報告があり、第1号・2号議案を一括審議、満場一致で承認された。



第3号議案、平成27年度基本方針並びに運営方針、事業計画(案)並びに収支予算(案)、承認の件
 第4号議案、借入金 の最高限度額決定の件を島田幸昌専務理事が説明、満場一致で承認された。

第5号議案、任期満了に関する役員改選の件では定款に則り、推薦会議により候補者が推薦され、推薦委員を代表し饗場功治氏より次期理事推薦者が発表され満場一致の承認を受け承認された。
 第6号議案、その他では島田幸昌

専務理事より組合員数の報告があり、本年度、新規加入企業は賛助会員で1社、退会企業は5社(うち賛助会員1社)あり、正規組合員企業は78社、賛助会員27社との報告があった。

全ての議案審議も滞りなく終了した後、閉会の辞を吉田幸司副理事長より挨拶を頂き総会の幕を閉じた。

この後、小休憩後、同会場隣の宴会場にて懇親会を開催し、島田幸昌新総務委員長の司会で始まり、開会の辞を伊藤麻美新副理事長よりご挨拶を頂いた。続いて、主催者を代表して黒澤久新理事長より挨拶を頂き、

「埼玉県鍍金工業組合、今期で50周年目を迎えます。諸先輩が築き上げてくれたこの歴史ある組合の代表となり身の引き締まる思いでございます。私は24歳で埼玉鍍金に入会し会長を経験以来、埼玉県中小企業団体中央会及び全国中央会への出向、全国青年中央会の立ち



す。自己主張ばかりでは組合活動は成り立ちません。この掛け声のもと組合運営を進めていきたいと思っております。本年度は50周年記念企画も控えております。ぜひ熱いお叱りと暖かいご協力をお願い申し上げます。」と述べた後、続けて黒澤久理事長より新役員の紹介に移り、壇上に各新役員が登壇

上げとその会長も務めさせていた。だく、実に沢山の方と出逢い大変貴重な経験をさせていただきました。今の会社があるのは当組合と中央会を通し、その頃語り合った仲間と共に勉強をした賜物であると改めて感謝申し上げます。話は変わりましたが、これからの組合がどうあるべきか？私はいかが思っております。大変生意気ではありますが、皆様には組合員同士、助け合い・分かち合い・譲り合う『三合一主義』を提唱させていただきます

- | | |
|-------|-------|
| 理事長 | 黒澤 久氏 |
| 副理事長 | 伊藤麻美氏 |
| 副理事長 | 吉田幸司氏 |
| 専務理事 | 出野哲也氏 |
| 総務委員長 | 島田幸昌氏 |
| 副委員長 | 田中知雄氏 |
| 環境委員長 | 和田忠宏氏 |
| 副委員長 | 渡邊順一氏 |
| 技術委員長 | 新谷祐司氏 |
| 副委員長 | 高岡彰次氏 |
| 監事 | 瀬野 徹氏 |
| 監事 | 饗場功治氏 |
| 顧問理事 | 仁科俊夫氏 |
| 直前理事長 | 小林 満氏 |

新役員を代表し、吉田幸司副理事長より挨拶をいただいた後、前理事長の小林満氏に伊藤藤美副理事長より花束贈呈が行われ一言頂いた「20数年間組合に関わらせていただいて、その間色々な方と接しながら様々な勉強をさせていただき、有形無形の恩恵を頂戴したこと厚く感謝しております。これからの組合運営は大変だと思いますが、新理事の方々には強い情熱をもって運営をしていただきたいと思っております。長年のご協力に感謝申し上げ、御礼の挨拶に代えさせていただきます。」と述べた。

次に、

埼玉県知事

上田清司 様

さいたま市市議会議員

阪本克己 様

埼玉県産業技術総合センター

センター長 中村雅範 様

全国鍍金工業組合連合会

会長 栗原敏郎 様

衆議院議員

牧原秀樹 様

以上の来賓の皆様よりご祝辞を頂いた。

東京都鍍金工業組合副理事長

永田一雄氏 のご発声で乾杯、

祝宴に入り終始和やかな雰囲気の中、吉田幸司副理事長の閉会の挨拶で第50回埼玉県鍍金工業組合通常総会・懇親会を終了した。



島田総務委員長



和田環境委員長



新谷技術委員長

降板

直前理事長 小林 満

二十有余年にわたった組合運営を終えさせてもらった。

何となく降板という思いでい

る。

多少やり残したことも多かったようにおもえるのがそのせいなのか。

それは次を引き継いでくれた方々にお願いをすることに。

厳しい局面も多々あったものの、反面楽しいこともたくさんありました。

とくに多くの方と接することができ、ものの見方、仕事のやりかた、人生の楽しみ方を

学んだ。仕事熱心な人は、人生も楽しんでいゝなとつくづく感じさせられた。

少々、自由に気楽に使える時間が増えるので、趣味の街歩き（息子たちは徘徊と言って笑うが）を、今まで以上に見よう。

特に目的を設けることもなく、こと決めた街を、ふーん、ふーんと言いつつ歩いていく。

何が「ふーん」なのか自分でもよくわからない。

ただ休むこともなく3〜4時間



それこそ徘徊です。名所、旧跡風
光明媚でなくともOK.

実に安上がりでいい趣味だと思
いませんか。時たましゃれたレス
ランなんかにお目にかかろうもの
なら何日間かは幸せな気持ちで
られます。

なかなかお供をしてくれる人が
いません。毎週木曜日が金曜日に
予定をたてています。

ご希望の方はお問い合わせ下さ
い。

在任中は大変お世話になりました
がとうございました。おかげさ
ままだ元気です。

もう少しの間仲間にしておいて
ください。

全鍍連 通常総会開催される



昨年は消費税増税直後ということ
もあり「熱気」をあまり感じなかつ
たが、今年は皆さんに活気が戻ら
れたように感じている。」とご挨拶
された。

そして、総会に先立ち岸賞の表
彰が行われ、神谷副会長兼選考委
員長より近藤専務理事の受章が発
表された。栗原理事長より表彰状
の贈呈ののち、近藤専務理事が謝
辞を述べ、議題へと移りました。

今年役員改選の年であり、栗
原会長が再任となり、副会長に東
京の神谷理事長・大阪の森脇理事
長・愛知の神谷副理事長・山梨の田
代理事長・九州の山田理事長が、そ
して新専務理事に清水篤人氏が就
任しました。

そして、二期目となる栗原会長
の就任挨拶の後、理事・監事を退任
された方々の発表及び感謝状の贈
呈が行われ、三浦前副会長の閉会

の辞にて総会は終了となりました。

総会の後、会場を変えて、池田新
総務委員長の司会進行により懇親
会が行われました。

懇親会は神谷副会長の開宴の辞
で始まり、続いて栗原会長が挨拶
を述べました。その後に、近藤専
務理事の岸賞、鈴木元会長の旭日
双光章、機材工奥野会長と東京組
合木村顧問の藍綬褒章、愛知組合
佐藤専務理事の黄綬褒章の受賞が
披露され、盛大な拍手が贈られま
した。

続いて、来賓として経済産業省
非鉄金属課の井上課長、全国中小
企業団体中央会の高橋専務理事、
日刊工業新聞の井水社長、日本表
面処理機材工業会の奥野会長から
ご祝辞をいただきました。

来賓のごあいさつが終わり、石
井・鈴木名誉顧問の乾杯の発声で

平成27年度 全国鍍金工業組合
連合会 通常総会および懇親会
が、平成27年5月28日に機械振興
会館において開催されました。
総会は森脇総務委員長の司会進
行にて行われ、長坂副会長の開会
の辞で開かれました。
そして全国鍍金組合連合会の栗
原会長より「今月に入り、各組合の
総会に出席させて頂いているが、



祝宴が開始され、和やかに歓談情報交換等が行われました。当組合からも6名出席させて頂き、楽しい時間を過ごす事が出来ました。そして大村常任顧問、姫野顧問、伊藤常任顧問の中締めの後、森脇副会長の閉会の辞により懇親会は閉幕となりました。

埼玉会定期総会開催される

辞により、定期総会が開催され、まず本日から任期2年目となる甲斐野会長から会員各位へ前年度における協力への感謝の意とこれからの活動の意気込みについてご挨拶をいただきました。続いて(有)石田電解研磨工業所 石田氏より定



後、(株)大倉 岡田氏より「平成26年度の事業報告」、続いて日本マイクロ工業(株) 山本氏より「平成26年度収支決算報告」、会計監査報告は監査役を代表して、(株)大宮鍍金工業 出野氏が行い、意見、意義もなく本件は承認されました。

その後、ご来賓いただきました埼玉県鍍金工業組合 黒澤理事長より、埼玉会の大先輩としてのご助言を、そしてこれからのめっき業界の展望について話していただきました。

2015年6月13日(土)、さい

たま市大宮区の「料亭旅館新道山家」にて、埼玉会の第46回定期総会が開催されました。当日は夕日なのに肌を刺すような暑さの残りを感ずる中、定期総会では24名、その後の懇親会では27名の会員にご出席いただきました。

司会進行(株)小林鍍金工業 小林(直)氏、議長 潮工業(株)饗場氏により、議事進行がなされました。兼松精鍍工業(有) 島村氏の「開会の

次)に本年度の計画案へと議事が移り、岡田氏より事業計画案が発表され、続いて山本氏より予算案の上程があり、すべての閣議を満場一致で可決された後、(有)渡辺鍍金工業所 渡邊直前会長の「閉会の辞」にて定期総会は無事に終了し

総会の真面目な雰囲気を残しつつ、引き続き「料亭旅館新道山家」の宴会場にて、懇親会が開催されました。お忙しい中、御来賓として、埼玉県鍍金工業組合から黒澤



理事長、会友の新藤様、阪本様にも御参加して頂き、盛大な懇親会となりました。

まず甲斐野会長は、これからのめつき業界は情熱を持ち、どんな挑戦をしていかないといけないのではないかと活動テーマである「情熱と挑戦」に関して具体的な話を頂き、そしてそのテーマを埼玉会でも実践していく旨を伝え、若輩の一会員として身の引き締まる思いがしました。

続いて埼玉県鍍金工業組合黒澤理事長より御祝辞を頂き、さらにその後、新硬クローム工業(株)新谷氏より乾杯の挨拶をいただきました。

毎回の事ですが、用意された時間が短く感じるほどあつという間に時間が過ぎ、楽しくもためになるという、まさに埼玉会といった雰囲気を感じる中、締めめの時間となりました。

締めは第9代会長 新光メッキ工業(株)新藤様にいただき、埼玉

鍍金会員に向けて有りがたい言葉

を頂戴しました。

懇親会の最後には参加者全員の集合写真を撮り、参加者全員の笑顔を写したままお開きとなりました。

この席にて埼玉県鍍金工業組合と奥野製薬(株)から多大な御奉仕を頂いたこと、最後になりましたがここで感謝の意を述べさせていただきます。



保険業務が組合の運営を左右することを、ご存じですか

組合の保険業務って？

1. 生命保険(傷害保険)
- 全共済(グループ保険)
2. 自動車保険
- 埼玉県火災共済協同組合
3. 火災保険
- 埼玉県火災共済協同組合
4. PL保険
- 中央会(有)オフィス・コバヤシ

鍍金工業組合では、この四つの保険を扱っています。

この保険手数料収入は、年間で150万円の収入になります。

組合のメリットだけではなく、皆様にも若干の経費削減になるとお思います。

是非、組合に直接説明を聞いていただき、見積りをしてください。

当組合にとって、大事な収入源の一つです。組合員数の減少によ

る収入減、加えて建屋の老朽化による修繕費などはかさむ一方です。

皆様のご理解ご協力を、宜しくお願い致します。

他の保険から、組合の保険に変更した事例とメリットを報告します。

1. の全共済のグループ保険について、総務委員よりお願い

総務委員会の仕事の中に、保険の選別や手数料や配当金の扱いなどが含まれます

全共済の配当金が、集めた金額の70%あり、理事会の決定により、その中の20%(約100万円)を、全共済に加入されている方々より組合に寄付のお願いをしたところ

です。組合活動によって、暫定基準の施行・いろいろな情報・鍍金の活性化に使われ・全共済に加入してい

ない方々も、何らかの形で恩恵を受けています。

65歳以下の方であれば、年間1万円弱・月額830円で100万円の保証を受けられる物からあります。

未加入の会員会社の方は、一人でも入れます。

是非とも是非とも、一人でも多くご協力をお願い申し上げます。

3. の埼玉県火災共済協同組合

戸田市のS社

以前、組合の火災保険があると聞き、半信半疑で見積りをしたら、民間の保険会社より数千円安い金額でした。

火災保険は、掛け捨てで一年契約です。金額がほんの若干安くなり、しかも組合にも還元されるという事なので、ありがたく加入させて頂きました。

また、私の町会の町会会館の火災保険も鍍金組合扱いで火災共済

に加入でき、1万円近く安くなりました。

上尾市のN社

弊社では、社有車の保険について民間の保険業者との相見積もりを取りましたが、ほぼ同一の条件で見積もつても、万単位の金額差がつき、迷わず火災共済を選びました。やはり営利目的ではない「共済」ですので、一般の保険業者よりかなり安価になる傾向のようです。

今使用している保険との金額比較のためにも、一度は見積もりを取られることをお勧めします。



大岩フラワーカーデン

草津温泉や四方温泉などの温泉地に囲まれた群馬県吾妻郡の県道55号線(ロマンチック街道)沿いにある「大岩フラワーカーデン」は、標高700mの大岩の麓に広がる6万㎡の敷地に、菜の花、ポピー、コスモス、ひまわり、など四季折々の花が楽しめる観光農園で、7月後半から9月初旬までの、60万本のひまわり畑は圧巻です。写真は雄大な大岩をバックに撮影したひまわり畑です。ひまわりは皆太陽の方角に向かって花を咲かせると言います。我々も景気回復と言う明るい方向に向けるようお願いこの写真を選びました。

名称・大岩フラワーカーデン
所在地・群馬県吾妻郡中之条町大字上沢渡3215

営業期間・毎年7月下旬～10月
営業時間・9時～

料金・大人500円、小人250円
電話番号・0279-66-2252
公式サイト・<http://www.ohiwatg.com/>



印刷
保証企画工芸株式会社
〒110-0012
東京都台東区竜泉1-4-3
TEL03(3875)1641